

「社会健康医学」基本構想検討委員会（第5回）会議録（議事要旨）

日 時	平成29年1月25日（水）午前10時00分から午前11時30分まで
場 所	ホテルアソシア静岡15階「ベラビスタ」
出席者 職・氏名	出席委員：11名（敬称略） 本庶佑、佐古伊康、田中一成、鶴田憲一、徳永宏司、中山健夫、 宮田裕章、宮地良樹、望月律子、山本清二、山本敏博 欠席委員：なし 事務局 知事 川勝平太 副知事 吉林章仁 健康福祉部長 山口重則 健康福祉部部長代理 渡瀬浩 健康福祉部理事 壁下敏弘 健康福祉部管理局長 鈴木宙志 ほか健康福祉部職員
議 題	1 静岡県健康寿命の延伸に向けた提言（案）について 2 その他
配布資料	議事次第 「社会健康医学」基本構想検討委員会委員名簿 資料1 「社会健康医学」基本構想検討委員会（第5回）について 資料2 静岡県健康寿命の延伸に向けた提言（案） 参考資料 「健康寿命を延ばそう!!シンポジウム」リーフレット

1 審議事項

- (1) 静岡県健康寿命の延伸に向けた提言（案）

2 審議内容

山口健康福祉部長から、第4回のまとめ、「静岡県健康寿命の延伸に向けた提言（案）について、資料1～2に基づき説明した後、各委員による議論を行った。

(1) 主な意見

- ・社会健康医学の知識や臨床研究の技術を最終的に県民に還元し、地域の医療水準を向上させるのは、かかりつけ医をはじめとした、県内の地域医療を支える医師、看護師、薬剤師である、ということを示すべきだ。
- ・社会健康医学の取組により得られる知見や成果は、県民一人ひとりに還元するだけでなく、得られた成果を全国、世界に発信することにより静岡県の魅力を高めることを示すべきだ。
- ・「【提言3】拠点」について、単なる「拠点」ではなく、「研究と教育の拠点」であることを示すべきだ。

(2) まとめ

- ・これらの意見を反映した提言の修文は、委員長に一任する。